



曹洞宗 源溪山長安寺 寺報〔NO.172〕

# “源溪山だより”

<https://chouanji.p-kit.com/>

令和5年6月①

住職 恩田仁志 gen-chouanji@aka2.gmob.jp



## ◆「食事だより」

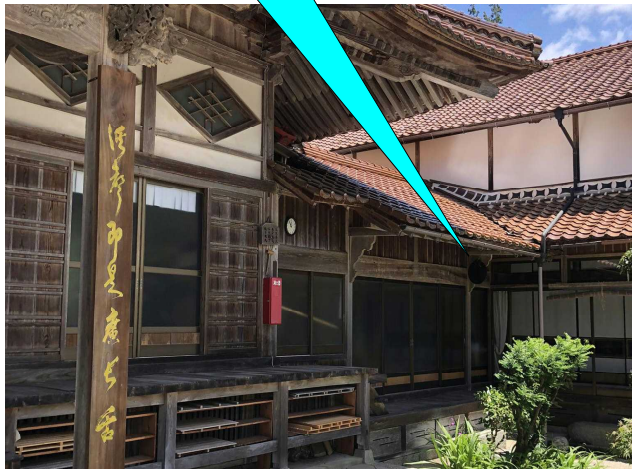
6月10日は時の記念日。矢の如く過ぎ去る日々を大切にしたいものと思います。寺にあって時(刻)をしらせる鳴らし物をご紹介します。

写真は「雲版」(うんぱん)といいます。雲の形を模しているのものでそのように呼ばれます。

長い間しまい込まれていたものを、今春、掛けなおしました。



↓ 本堂右 庫裡との繋がり部分



タイトル枠内のイラストのように、揺れないように片手を軽く添えて打ち鳴らします。

広い敷地の寺院で、主に食事の用意ができたことを知らせるのに使うので、寺院の台所である庫裡(くり)に掛かっていることが多いです。

雲は雨をもたらすことから、鎮火・防火の象徴ともいわれます。



縦約45cm、横約40cm  
木槌で叩いて音を出します。

## ◆香を焚き雨を聴く

月初めは台風2号のニュースと、その影響で勢力が強まった梅雨前線による降雨から始まりました。



豪雨であれば不安をかき立てられる雨音ですが、新緑の美しさをより引き立てる雨の音は、心を落ち着かせてくれるものともなります。

香木の香りを楽しむ香道という伝統があります。香道では香を「聞く」と表現します。「聞く」という言葉を使うのは、香の香りを通じて自然や地球の声を聞き、自然と一体化し、同時に自身と向き合うからと説明されます。

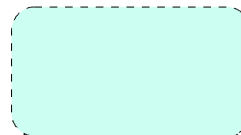
雨の季節。香を聞き、雨音を聞くといった折々の風情を楽しむちょっとした時間が、心に豊かさをもたらしてくれると思います。

今月の塔婆裏文は「焚香聴雨」としました。“香を焚き雨を聴く”と読みます。

焚  
香  
聴  
雨

## ◆ご寄付(志納)感謝申し上げます

拝受したご志納について紹介します。宗教法人寄進台帳に記載し、仏具や法衣、伽藍充実などに使わせていただきます。



様  
様  
様

